大分県立病院広報誌　病院機能評価 Ver.6.0認定病院　当院は敷地内全面禁煙です。

# 県病ニュース特別号

秋季号　【理念】奉仕・信頼・進歩　2013.10　No.200

## 県民の皆様の生命と健康を守るために
### ～大分県立病院の新しい取り組みのご紹介～

大分県立病院
院　長
田代（たしろ）　英哉（ひでや）

平成24年人口動態統計（概数）大分県の概況によれば、死亡数は１４、０５０人で、死因別では悪性新生物（がん）が26・７％を占め、次いで心疾患15・５％、肺炎10・４％、脳血管障害10・０％などとなっています。

大分県立病院は県民の皆様の生命と健康を守るために、県の基幹病院として高度・専門医療の提供に取り組んでおりますので、紙面の都合上、今回はその一端をご紹介させていただきます。

まずがん医療についてご紹介しましょう。県立病院は平成20年に大分県地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、手術・放射線治療・抗がん剤治療・緩和ケアなどの専門的ながん医療の提供、かかりつけ医との連携協力体制の構築、相談支援及び情報提供等を行っています。

平成24年資料によれば肺、乳房、血液、婦人科、消化器（胃・大腸・肝臓・膵臓など）、泌尿器（腎臓・前立腺・膀胱など）や耳鼻科（咽頭・喉頭・甲状腺など）の腫瘍が多く診断・治療されています。

また、がん治療における放射線治療の重要性が高まっていますので県立病院は機器を更新し、今年５月から最新の高精度放射線治療が可能になり、〝がんに厳しく人に優しい〟機器と言えるのではないでしょうか。治療成績の向上及び副作用の軽減が大いに期待されています。

次に心疾患（循環器系）の診療についてご紹介させていただきます。平成24年資料によれば循環器系の退院患者数は１、０２４人、うち虚血性心疾患（急性心筋梗塞・狭心症など）は３８８人となっています。病気の性格上急患が多く（３６５日24時間受入を行っています）、救急車受入件数は循環器内科だけで２８７件にのぼり、心臓カテーテル検査は５０２件、冠動脈インターベンション（経皮的冠動脈形成術・ステント留置術など）が２００件に達しています。心臓血管外科のバックアップ体制も万全ですので、より困難な治療にも挑戦が可能になっています。

今年５月にはロータブレーター（ドリルで固い冠動脈狭窄粥腫を削り取る）、７月には非常に危険な不整脈に対する治療であるＩＣＤ（電気ショックを行う装置を体内に植え込む）及び重症心不全に対する治療であるＣＲＴ（両心室ペーシング・再同期療法）の認定施設となりました。

この他の診療についてはまた別の機会にご紹介させていただくことにしましょう。

「大分県立病院が１００年先も光り輝くために」を合言葉にさまざまな取り組みに努めて参りますので、県民の皆様にはご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 婦人科のご紹介

婦人科部長
井上（いのうえ）貴史（たかふみ）

本年4月から婦人科に赴任いたしました井上貴史と申します。主に婦人科腫瘍を専門にしております。すこしでも大分県の産婦人科医療に貢献できるように診療していく所存です。よろしくお願いいたします。

現在、総合周産期母子医療センターとの勤務（妊娠・分娩管理）を兼任し、産婦人科として12名のスタッフで診療にあたっています。

当科では子宮頸がん、卵巣がん、子宮体がんなど、婦人科悪性の病気と子宮筋腫、卵巣のう腫、子宮脱などの良性の病気を中心に診療しております。

悪性疾患の手術では、子宮頸がん根治術における術後の排尿障害の軽減のため、神経温存手術を取り入れています。若年の初期子宮頸がんの患者様で妊娠の可能性を温存するような手術（子宮頸部摘出術）にも対応可能です。

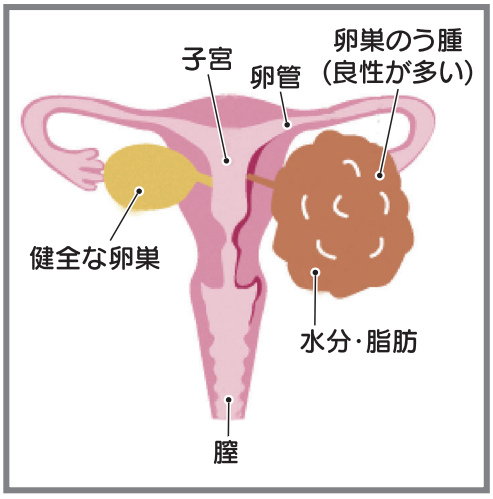
また骨盤のリンパ節を摘出することに伴う、下肢のリンパ浮腫になりにくくなるような手術方法の工夫を行っています。

良性疾患に対しては腹腔鏡手術（図1）を積極的に行っています。術後の痛みが軽く、手術のきずも小さく、入院期間が短くなるなど患者様にはメリットの多い手術です。

もちろん子宮外妊娠や卵巣のう腫の捻転などの救急疾患についても随時対応しております。可能な限り腹腔鏡手術を行っています（図2）。

大分県民のみなさまのお役に立てるよう、スタッフ一同今後とも努力してまいります。今後ともよろしくお願いします。

図1　腹腔鏡手術の様子



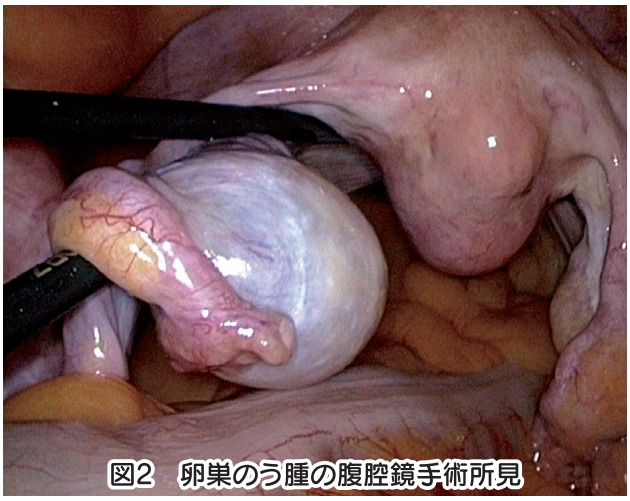



図2　卵巣のう腫の腹腔鏡手術所見

# 食道がんに対する低侵襲手術のご紹介

がんセンター第一外科
部　長
**板　東（ばんどう）　登志雄（としお）**

今年4月にがんセンター外科部長として着任した板東です。52歳、外科医となって28年目を迎えます。出身大学は大分医科大学で、卒業後は第1外科（現：大分大学消化器・小児外科）に所属し、学位は食道静脈瘤の臨床研究で取得しました。その後は大学病院を中心に、今回ご紹介する低侵襲手術である鏡視下手術の研鑽を積んできました。

ご存知のように鏡視下手術は、従来の手術に比べて傷が目立たない・傷があるようには見えないといった美容上のメリットに加え、術後の痛みが極めて軽いため、早期の離床が可能で早期社会復帰が図れる優れた手術と言えます。

県立病院外科では、腹部の外科手術の7、8割以上が鏡視下に行われていて、胃がん、大腸がんはもとより食道がんに対しても積極的に同手術が選択されています（図1）。

**【食道がんに対する鏡視下手術】**

食道がんは飲酒や喫煙などが誘因となって発症するがんです。食道は解剖学的に頸部、胸部、腹部にわたる臓器であり、また比較的早期の段階から広範囲にリンパ節転移が生じやすいがんとされています。

このため従来手術では頸部、胸部、腹部の3か所に大きな切開をして手術をしていましたので、消化器がんの手術の中では最も侵襲の大きい手術と言われてきました。

最近になって食道がんに対しても鏡視下手術が導入されるようになり、当院においても胸部操作には胸腔鏡（図2）、腹部操作には腹腔鏡（図3）を用いて、傷がとても小さく、術後の肺機能をはじめとした臓器機能への悪影響が少ない手術を行っています。

従来手術に比べて患者さんの術後の安楽度は格段に良くなっており、通常の身体活動への回復も非常に早くなっています。

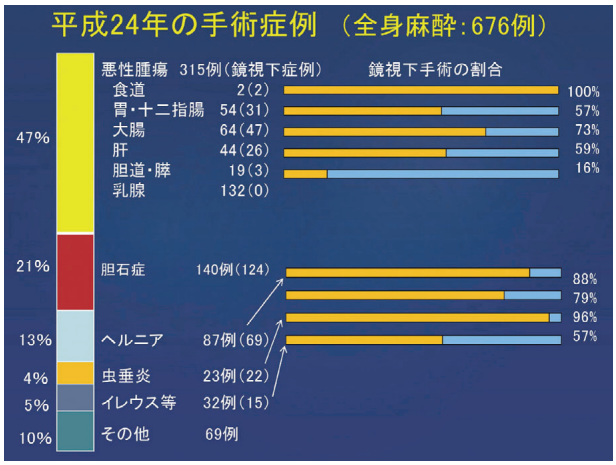



図1：平成24年の疾患別手術例数と鏡視下手術の割合

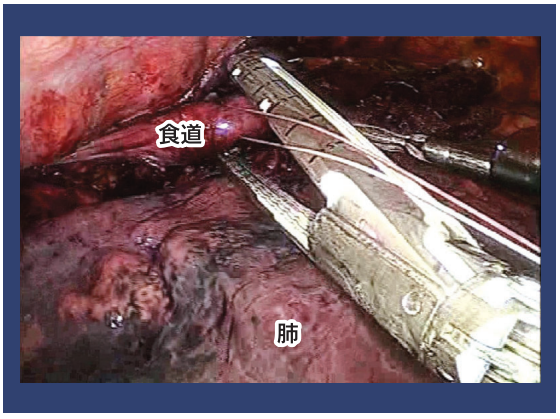



図2：胸腔下手術（食道の切離）

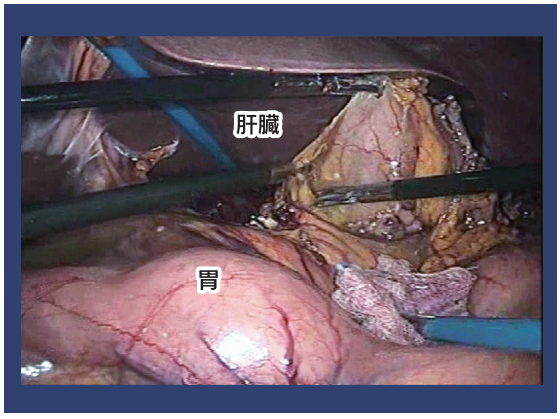



図3：腹腔下手術（胃の遊離）

# 薬剤部だより

## 造血細胞移植に使う薬剤のパンフレットを作りました!

造血細胞移植とは、正常な血液を作ることが困難な疾患(白血病、再生不良性貧血など)の患者さんに対して、提供者(ドナー)の造血細胞を移植し、正常な血液を造ることができるようにする治療です。

患者さんに使用される薬剤は実に多様で、メーカーから配られる資料では、情報量が多く、理解するのがなかなか困難でした。

そこで薬剤部では、これだけは覚えておいてほしい、いつも気を付けてもらいたいという情報をピックアップし、治療スケジュールや副作用情報、対処方法などについて、A4用紙1枚に薬剤ごとにまとめたオリジナルのパンフレットを作成しました。

担当の薬剤師がこのパンフレットを組み合わせて患者さんに渡し、できるだけわかりやすい言葉で説明しています。患者さんからは、「見やすいしわかりやすい。」「おかげで不安な気持ちが少し和らぎました。」など、概ね好評です。

移植はともすればゴールのように感じられますが、むしろスタートです。今後もこのパンフレットを活用し、患者さんの治療に対する理解度の向上と不安の軽減に努めていきます。

**●造血細胞移植に関わる薬剤師の業務内容**

- レジメン審査、抗癌剤の調製
- 薬剤の投与量、投与間隔の確認
- 腎臓や肝臓の悪い患者さんに代替薬剤を提案
- 点滴ルート、配合変化のチェック
- 薬剤の説明、副作用のチェック、服薬状況の確認
- 他職種スタッフからの薬剤に関する質問対応

○作成した移植患者さん向けのパンフレット

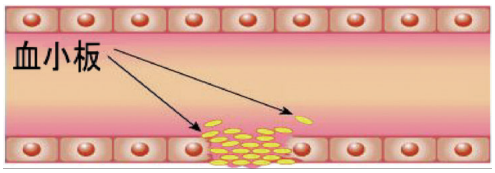
# 臨床検査技術部だより

## 血液豆知識　～血小板の形状～

止血に関わっている血小板ですが、どのような形状をしているのでしょうか?

末梢血中の基準値は14～40万/μL、直径2～4μmの円盤状です。血液塗抹染色標本では赤紫色に染まる顆粒を有しています(図1)。血小板は骨髄中に存在する巨核球から産生され、1細胞あたり約5,000個放出され(図2)、寿命は約10日です。疾患・病態によっては巨大血小板(図3)や奇形血小板(図4)が出現することもあります。

血液検査室では分析装置や顕微鏡を用いて血小板数測定や大型・奇形血小板等の異常所見を観察・報告しています。



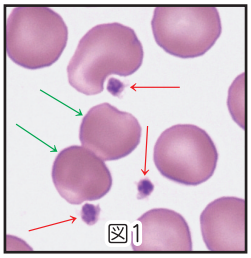



図1

**【末梢血標本】**
メイギムザ染色(×1000)
←：正常血小板
←：赤血球

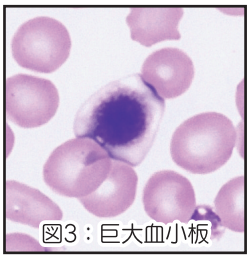


図3：巨大血小板

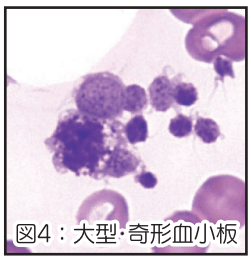


図4：大型・奇形血小板

**【骨髄標本】**メイギムザ染色(×1000)

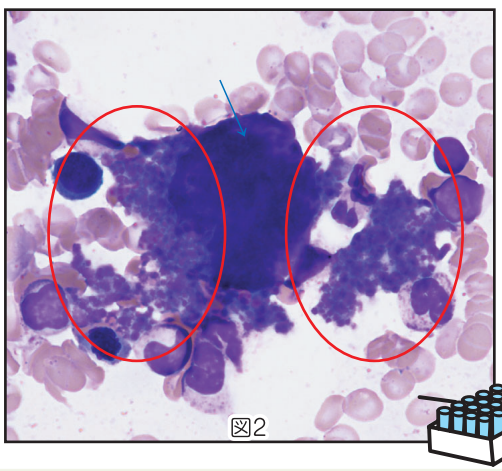


図2

←：骨髄巨核球
○：周囲に多数の血小板産生

## 看護部からの豆知識

### むせ予防について

年齢を重ねると、足腰の力が弱るのと同じように、食事を安全に食べるための力も弱くなります。

食事をいつまでも安全においしく食べるためには、むせを予防することが大切です。むせを予防するための注意点等について説明します。

**＜食べる時にむせやすい食品＞**

1. 水分（水・お茶・ジュース・汁物など）
2. 酸味の強いもの（酢の物、ミカンなどの柑橘系）
3. パサつくもの（焼き魚・ゆで卵・カステラ・ふかし芋など）
4. 噛みにくいもの（かまぼこ・こんにゃく・イカなど）
5. のどに張付くもの（餅・焼き海苔・わかめ・レタスなどの葉野菜）
6. 口の中に粒が残るもの（ピーナッツ・大豆・ごまなど）
7. 繊維の強いもの（ゴボウ・フキなど）

**＜むせ予防のポイント＞**

- ●薬を飲むときの白湯やお茶、汁物はとろみをつける。
- ●パサつく食品は餡かけするなど、調理の仕上がりを一工夫すると良いでしょう。
- ●食事に集中できる様、環境を整えましょう。
- ●食べ物をしっかりと飲み込むまでは急に声をかけないようにしましょう。

（摂食嚥下障害看護認定看護師　　池邉佳美）

## 放射線技術部だより

### 低侵襲な脳血管内治療

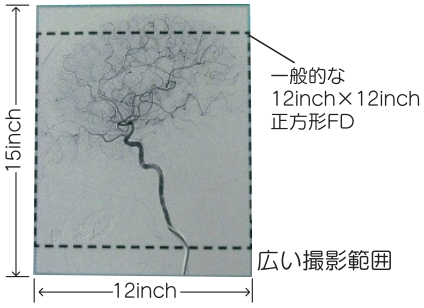
脳動脈瘤はくも膜下出血の要因としてあげられます。CT、MRI等で動脈瘤が見つかった場合の治療法として、①開頭して動脈瘤をクリップで留める方法と②血管内にカテーテルと言う細いストローのようなものを進めて動脈瘤をふさぐ方法があります。カテーテルを使う方法は動脈瘤までカテーテルを進めて、その先端からコイルと呼ばれる柔らかい針金のようなものをぐるぐると動脈瘤内に詰めていきます。動脈瘤内部がすべてコイルで詰まることで、くも膜下出血を防ぐ治療になります。

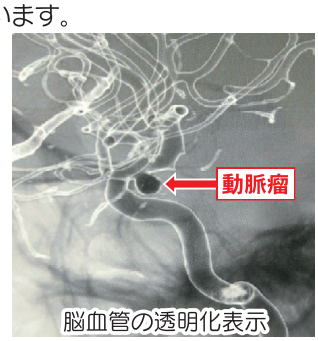
新装置外観

今回、このカテーテル治療に最適な最新装置が導入されました。これにより治療方法の幅も広がりました。新装置は従来の装置より広い範囲の撮影ができ、細いカテーテルの先端もはっきりと写る高画質なものになりました。撮影された画像も3Dカラー表示が簡単に表示できます。治療方針を決めるためにはこの3D表示はもはや不可欠なものです。

装置の高性能化により患者さんの負担を軽減し、よりやさしい検査をめざしています。

3Dカラー表示（脳血管）



脳血管の透明化表示

# 栄養管理部だより

## 麹を活用した料理～ぶり大根～

夏も終わり、朝晩すっかり涼しくなりました。
夏の暑さで疲れた体に、麹と旬の食材を使った料理はいかがでしょうか？
日本で昔から親しまれてきた『甘酒』は、麹の酵素の力を借りて発酵させることで甘みが増します。
甘酒は「飲む点滴」と言われ、飲み物としてはもちろんのこと、料理の調味料としても幅広く利用できます。
今回は、甘酒と日本酒を使い、コクと旨味のある料理に変身させるレシピを紹介します。

| 【材料】(2人分) | 【作り方】 |
|---|---|
| ・ブリ切身…2切れ(200g)<br>・大根……1/4本(300g)<br>A ・甘酒……大さじ4<br>A ・日本酒…100ml(1/2カップ)<br>A ・醤油……大さじ2<br>A ・水……50ml(1/4カップ) | ①ブリを3等分にそぎ切りにし、熱湯をサッとかけて水けをふきとる。<br>②大根は、厚めに皮をむき一口大の乱切りにする。<br>鍋に水(分量外)と大根を入れ中火にかけ、蓋をして大根が軟らかくなるまで煮る。<br>③別の鍋にAと①と②を入れ、中火にかけひと煮立ちしたら、落し蓋をして汁けが半分くらいになるまで煮る。 |

**★ポイント★**
大根は、葉に近い部分に甘みがあるので、そちらを使うのがオススメです。

**甘酒の効果**
★砂糖やみりんなどの甘さを足す調味料の代わりに、自然な甘みや旨味・コクをプラスしてくれる
★素材を軟らかくする効果がある
★消化や吸収をスムーズにし、消化にかかる身体の負担を軽減してくれる

# 県病県民ギャラリー・芸術会館収蔵品特設ギャラリーのお知らせ

県立病院では、2階に県美術協会のご協力により会員等による絵画や書を展示しています。また、1階中央待合室には、県立芸術会館に収蔵している大分県を代表する作家の洋画・彫刻・工芸作品も展示しています。
患者さんなど病院を訪れる方々に大変好評ですので、ぜひ一度お立ち寄り下さい。
(お問合せ先:
総務経営課 総務班 内線7117)

# 医療ネットワーク

大分県立病院診療支援センターからのお知らせ

## ―― 精密検査のご案内 ――

健康診断後、要精密検査（二次検診）が必要となった方へ

### 1. 受付窓口

大分県立病院では、職場等の定期健康診断で何か異常が指摘され、精密検査を受けに来院された方を１階の「紹介状お持ちの方専用窓口」で受け付けています。

受付時間は、月曜日から金曜日の8時～11時までです。

受付窓口では①診察申込書にご記入頂き、②医療機関宛の封筒、③健康保険証、④県病の診察券（県病受診歴のある方）を窓口に提出してください。

### 2. 受診診療科の確認

お持ちいただいた「医療機関宛の封筒」（検査結果）を拝見して診療科のご案内をいたします。例えば、「血糖値が高い」ときは「内分泌・代謝内科」を受診する手続きを行います。

検査結果により、診療科が複数となる事がありますのでご了承ください。診察時間が長くなることがありますので、お時間に余裕を持って来院されるようお願いします。

### 3. 診療科により休診日があります

大分県立病院のホームページで事前に確認が可能です。または、当院へ直接お問い合わせください。

お問い合わせ先

**大分県立病院**

診療支援センター　地域医療連携班

☎097－546－7129（月曜日8時～金曜日17時まで）

E-mail：renkei@oitakenbyo.jp

# 外来診療一覧表

注）実際の診療と異なる場合がありますので、必ず診療科にお問い合わせください。
（平成25年10月1日現在）

| 診療科＼曜日 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 循環器内科 | | ○ | ○ | 検査日 | ○ | ○ |
| 内分泌・代謝内科 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 消化器内科 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 腎臓・膠原病内科 9:30～ | 新患 | ○ | 休診 | ○ | ○ | 休診 |
| | 再来 | | | | 休診 | ○ |
| 呼吸器内科 | 新患 | ○ | ○ | ○ | 休診 | ○ |
| | 再来 | | | | ○ | |
| 血液内科 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 神経内科 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 外科 | 消化器 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 乳腺 | | | | | |
| 脳神経外科 | | 手術日休診 | ○ | ○ | ○ | 手術日休診 |
| 呼吸器外科 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 心臓血管外科 | | ○ | 手術日休診 | ○ | 手術日休診 | ○ |
| 整形外科 | | ○ | ○ | 手術日休診 | ○ | ○ |
| 形成外科 | | 休診 | ○ | ○ | ○ | 休診 |
| 眼科 | | ○ | 手術日予約のみ | ○ | 手術日予約のみ | ○ |
| 耳鼻咽喉科 | | ○ | ○ | 手術日休診 | ○ | ○ |

| 診療科＼曜日 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 婦人科 ※紹介患者さん優先とさせていただきます。 | 新患 | ○ | 手術日休診 | ○ | 手術日休診 | ○ |
| | 再来 | | ○ | | ○ | |
| 産科 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 小児科 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 新生児科 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 小児外科 | | ○ 午後手術 | ○ | ○ | 手術日休診 | ○ |
| 内視鏡科 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 皮膚科 ※紹介患者さん優先とさせていただきます。 | | ○ | 手術日休診 | ○ | 手術日休診 | ○ |
| 泌尿器科 | | ○ | 手術日休診 | ○ | 手術日休診 | ○ |
| 精神神経科 | | ○ 予約制 | ○ 予約制 | ○ 予約制 | ○ 予約制 | ○ 予約制 |
| 緩和ケア外来 | | ○ 15時から | 休診 | 休診 | 休診 | 休診 |
| 放射線科 | | ○ | ○ | ○ | 休診 午前中 | ○ |
| | | | | | ○ | |
| 歯科口腔外科 | | ○ | 休診 | ○ | 予約のみ | ○ |
| 麻酔科 （ペインクリニック準備中） | | 休診 | 休診 | 休診 | 休診 | 休診 |
| 外来化学療法室 | 午前 | 婦人科 泌尿器科 | 外科 呼吸器外科 脳神経外科 | 泌尿器科 脳神経外科 婦人科 | 外科 呼吸器外科 脳神経外科 | 外科 泌尿器科 |
| | 午後 | 血液内科 呼吸器内科 | 外科 小児科 呼吸器外科 | 消化器内科 腎臓内科 血液内科 | 外科 小児科 | 血液内科 呼吸器内科 |
| 診療科の判断が困難な場合の担当診療科 | | 消化器内科 | 1・3・5週 内分泌代謝内科 2・4週 循環器内科 | 呼吸器内科 | 神経内科 | 血液内科 |

**受付時間** 午前8時～午前11時

**診療開始時間** 午前8時30分

**救急患者は24時間受入**

**休診日** 土・日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）

**紹介による受診に関する事は…**

地域医療連携班
平日（土・日・祝日除く） 午前8時15分～午後5時
TEL 097－546－7129
FAX 097－546－7368

**療養中の心配事や不安などは…**

患者相談支援班
平日（土・日・祝日除く） 午前8時30分～午後5時
TEL 097－546－7125

**アクセス**

JR：大分駅からタクシーで約15分または
南大分駅からタクシーで約8分
バス：大分駅前バス停からバス・徒歩を含めて約25分
（大分市内中心部から約25分間隔で運行）
駐車場：有料駐車場（約420台）完備（1時間まで無料）


## 大分県立病院

〒870－8511 大分市大字豊饒（ぶにょう）476番地
TEL 097－546－7111～2（電話案内） FAX 097－546－0725 総務経営課広報係 2710（内線）
E-mail a80200@pref.oita.lg.jp ホームページ http://www.oita-kenbyo.jp/


※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ホームページか1階中央待合ホール備付けのアンケート用紙をご利用ください。